



## 防災や減災について理解を深める

### 豊川市の「治水」について学んだ出前講座

22日(月)、建設部道路河川管理課の職員の方を招いて、浸水被害軽減のための豊川市の治水について学びました。治水とは、洪水による被害から皆さんの生活を守る取り組みのことです。堤防やダムを整備、下水道の整備といったハード対策(行政の仕事)と、危険な個所を把握しておく、避難経路を考えておくといったソフト対策を一体として考えた『流域治水』について学びました。西部中学校区の西側は山地であり、北から南に向けてだんだん低くなる地形になっています。令和5年の記録的豪雨による浸水被害は記憶に新しいですが、信用できるインターネット情報やアプリ、ハザードマップを活用し、今から備えていきたいものです。

ハザードマップは知っていたけど、土地の高さがわかるサイトや川の様子をリアルタイムで見ることができるサイトがあることを初めて知りました。

自分の家は高いところにあるから大丈夫だったけど、川が氾濫したら通れる道がなくなってしまうかもしれない。

避難所は西部中学校にする、と考えていたけれど、川をはさんでいるので、上宿地区の市民館へ避難した方がよいのかなと思った。



自分の家の近くの避難所はどこだろう？

#### 【防災・減災に役立つアプリ・サイト】

- ・豊川市防災アプリ…豊川市の防災情報や市政に関する情報が得られます。
  - ・マップあいち…「くらし・安全」項目をクリックすると、さまざまなマップ情報を閲覧できます。
- この他にも、「豊川市ホームページ(河川・道路監視カメラ)」「気象庁ホームページ」などがあります。ぜひご家庭でも確認してみてください。

## マンホールトイレ設置体験

西部中学校は指定避難所です。災害時に使用できる公衆電話や、停電・断水時に使用できるマンホールトイレがあります。総合的な学習の時間に、マンホールトイレ設置体験を行いました。防災倉庫からセットを出し、協力しながらマンホールトイレを組み立てました。しっかりとしたつくりに関心しつつも、実際に便座に座してみるなかで、

「夏場の内部は暑そう」「夜の使用は怖いかも」「ちいさい子や足の不自由な人にとっては使いづらいかも」など、利用するうえでの心配なことにも気づくことができました。

実際に避難生活を経験した方から、「物資の運搬」「炊き出しの手伝い」「避難所の掃除」などで、中学生が活躍したという話を聞きます。このような状況が起きないことが一番ですが、万が一、マンホールトイレが必要になったときには、今回の経験を生かして、地域の力になってほしいです。



西部中学校

豊川市

